

令和 7 年度神奈川県立かながわ労働プラザ事業実績報告書

令和 8 年 5 月

公益財団法人 神奈川県労働福祉協会

目 次

1	指定管理業務について	1
2	自主事業について	3
3	管理執行状況	3
4	個人情報保護の取組	3
5	利用状況の概要	3
6	収支決算状況	3
7	その他事業	3

令和7年度 神奈川県立かながわ労働プラザ事業実績報告書

1 指定管理業務について

(1) 概要

令和7年度は、かながわ労働プラザ指定管理者として、労働者、県民の余暇活動・文化活動・交流の場を提供し、就業支援等のための各種講座を開催するとともに、労働プラザ全体の施設・設備の維持管理業務に努めました。

施設の維持管理については、経年劣化による備品や設備の故障が発生しましたが、県民の皆様が快適にご利用いただけるよう、その都度、出来る限り早急に修繕対応をしました。施設の運営業務については、利用者からの利用相談、多目的ホール会場設営、予約システムの使用方法の問合せ等の要望に確実に応え、また、施設利用料等の割引サービスの実施により利用者サービスの向上に努めました。利用料金の収納業務については、原則不還付となっていますが、キャンセル期限（利用日の3日前）までは預り金とし、前納した期日による不平等がないように努めました。

労働情報コーナーの運営では、労働に関する様々な情報を提供するほか、図書資料の検索などに応えるレファレンスサービスを行いました。インターネット上から蔵書検索可能となった図書管理システムの紹介や年6回蔵書の紹介を中心とした「労働情報コーナーだより」の発行により、貸出図書の利用促進を図りました。

施設の利用促進については、より一層多くの県民の皆様にご利用いただくために、当館を知らない方々の目にも留まるよう、無料貸会議室検索サイトへの登録やホームページ検索向上等のほか有料広告、ダイレクトメールによる利用案内、広域誌「プラザ通信」の発行により周知を図りました。なお、電気・ガス代の高騰により、光熱水費が過去3年平均比で約575万円増加し、収支を圧迫する要因となりましたが、省エネ対策の徹底により影響の最小化に努めました。

(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

ア 貸出設備等の点検及び整備の実施

■令和7年度点検整備実績

番号	整備項目	室名	金額（円）
1	パワーアンプ修理	音楽スタジオ	40,700
2	ギターアンプ修理	音楽スタジオ	74,800
3	カセットデッキ交換整備	多目的ホール	33,000
4	ピアノ調律	音楽スタジオ	28,600
5	クラッシュシンバル交換整備	音楽スタジオ	41,800
	合計		218,900

イ プラザ施設維持管理推進会議の開催

プラザ職員、当協会職員、委託業者、かながわ労働センター職員により構成された「プラザ施設維持

管理推進会議」を毎月1回（全12回）開催し、電気使用量の削減状況、設備点検・定期清掃等実施内容及び日時等、施設管理における必要な情報の共有化を図り、施設管理業務の効率的な実施を図るため、電気使用量の削減方法や各業務実施日時の調整等を行いました。

（3）施設の運営に関する業務

ア 利用に際しての利用条件、遵守事項、予約方法等の相談や設備等の問い合わせに対し、過去の事例を挙げながら丁寧な説明を行いました。

イ 多目的ホールの会場設営については、利用者の要望を受け、当館において会場設営を行いました。

ウ 利用者の安全確保、事故防止・災害等に向けた取組

- ・ 危機管理マニュアルの確認
- ・ 指定管理者による帰宅困難者対応マニュアルの確認
- ・ かながわ労働センターが実施する防災訓練への参加
- ・ 夜間等における限られた人員を想定した自衛防災組織を編成し、防災訓練を実施
- ・ 「公共文化施設賠償責任保険」及び「公共文化施設災害補償保険」加入

（4）利用料金の収納及び減免に関する業務

ア 利用料金納付期限を利用当日の利用前までとし、利用者の利便性の向上を図りました。イ 早期前納の場合の返還：キャンセル期限の期日（3日前）までは預かり金とし、キャンセルの場合には返還することとしました。ウ 減免状況：令和7年度においても条例に基づき適切に運用しました。エ 利用料金について：ギャラリーの「利用料金半額サービスプラン」や、音楽スタジオを1人で利用する際の「ひとり割プラン（楽器使用料無料）」を実施し、利用増と利用者負担の軽減を図りました。

（5）労働情報コーナーの管理運営に関する業務

ア 労働情報コーナー図書資料選定等委員会の開催

令和7年度は全3回（6月、10月、2月）開催し、図書購入計画や寄贈図書の選定について審議しました。

イ 特集コーナーの設置

労働情報コーナーだよりで紹介した図書やその時々話題になっている労働に関する事項等の特集コーナーを設置しました。

（6）施設の利用促進に関する業務

ア ダイレクトメール、広報用はがきによる利用案内の発送

イ 各会議室をバーチャルで見学できる「グーグルインドアビュー」の展開

ウ SNS（X）を活用したタイムリーな情報発信

エ 「プラザ通信」の発行（年3回）

オ 「労働情報コーナーだより」の発行（年6回）。

（7）その他労働プラザの管理に必要な業務

ア 環境への配慮

事務用品のグリーン購入実施、コピー用紙の再生紙利用

イ 納入業者による梱包箱等の持ち帰り指示、利用者によるゴミの持ち帰り周知

ウ 利用者へのサービス提供：1 階ロビーの観葉植物配置、プラザコンシェルジュによる案内、宅配便発送受取り代行サービス等の継続。

2 自主事業について

自主事業講座では、年間 **31 講座**を開催し、**594 名（延べ 5,546 人）**計 15 回開催し、地域住民の方々等到大変好評でした。

3 管理執行状況

（1）業務執行体制

館長 1 名、副館長 1 名、スタッフ主任 3 名、スタッフ 16 名の**計 21 名体制**（常勤 2 名、非常勤 19 名）で運営しました。

（2）光熱水費削減の取組

県・庁舎管理者と協議の上、エレベーターの稼働台数制限（3 基中 2 基稼働）や照明の間引きなどの節電対策を継続しました。

4 個人情報保護の取組

「個人情報保護規程」等に基づき、利用者の個人情報の保護・管理を徹底しました。令和 8 年 3 月には同規程の改正を行い、さらなる体制強化を図りました。

5 利用状況の概要

令和 7 年度における総利用者数は **212,344 人**（前年度比 **14,549 人増、7.3%増**）となりました。内訳は施設利用者 **207,422 人**、労働情報コーナー利用者 **4,922 人**です。施設全体の利用率は **35.2%**（前年度比 1.8 ポイント増）となり、多目的ホール（52.6%）や音楽スタジオ（35.15%）などの稼働が伸びました。

利用収入は **85,713,057 円** となり、前年度比で **4,866,571 円（6.0%）**の増収を達成しました。

6 収支決算状況

利用収入はコロナ前の状況に回復しつつあり増収となりましたが、一方で物価上昇に伴う**光熱水費の過去 3 年平均比 約 575 万円の増加**が経営を強く圧迫しました。

7 その他事業

事業計画書に基づき、適切に実施しました。